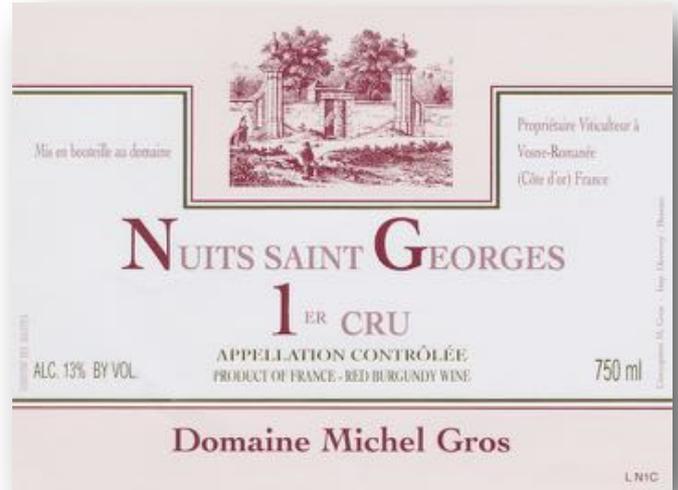


栽培面積：0,27ヘクタール
平均樹齢：35年
年間平均生産量：1200本
ブドウ品種：ピノ・ノワール



2018年のヴィンテージ

非常に暑く、乾燥した春夏に特徴づけられた2018年は、ブドウが早熟し、非の打ち所なく健全に完熟したブドウが収穫できました。

2017年が幕を閉じ、2018年が明けたその冬、ブルゴーニュの冬にしては比較的温暖で雨がちな天候がつづき、しっとりとした清涼な春を迎えました。その頃はこの年のブドウの成長はむしろ遅いだろうと考えられましたが、4月に暑い気候が再来。それまでの読みを大きく修正せねばならず、夏の終盤まで猛烈な勢いでブドウは成長していきました。私たちの栽培チームは、このハツラツとしたブドウの成育に遅れをとるまいと、仕事のペースを二倍に吊り上げ、ハイスピードで追いかけていきました。

5月末になるとブドウが開花し、開花期は理想的に過ぎていきました。この分だと9月初旬には収穫になるだろうと予想されました。春、夏と雨量が足りなかったことも、私たちのブドウ畑ではそれほど問題にはならず、おそらくは冬の間に地下に蓄えられた水が、ブドウの成長の供給源になったのだろうと考えられました。

7月には何度か雷雨が訪れ、9月初めまでにブドウが完全に成熟するための良い水分補給となりました。残念ながら、7月3日と15日の雷雨の際に降った雹は、私たちのオート・コート・ド・ニュイの畑のブドウを傷つけ、このとき平均50%のブドウを失いました。また、ニュイ・サン・ジョルジュのレ・シャリオの区画では、約30%のブドウを失いました。

私たちのドメーンでは、9月4日にコート・ド・ニュイのクリュから収穫を開始し、9月17日にオート・コート・ド・ニュイの畑で収穫を終えました。

収穫したブドウは文句のつけどころのないパーフェクトな状態で、その中から更に良いブドウを選び抜くなど、ほとんど必要はありませんでした。ただ、雹害に遭った区画のブドウだけは綿密な選果の必要があり、幸いにも視覚機能を備えた選果機を使用することができ、雹で傷ついた粒をすべて除けることができました。

一般年と比べてブドウが早期に熟し、収穫期が早めに訪れたこと、そして収穫されたブドウが健全な状態で完熟していたこと、それらの好条件のもとに醸されたこの年のワインは、暑い年でもブドウのフレッシュさを保った偉大な純粋さがあり、はじけるような果実味が生き生きと表れています。これならば長期熟成を遂げるポテンシャルを秘めた偉大なヴィンテージであると、今からでも予言することができるでしょう。

2018年を一言で語るなら、太陽のヴィンテージ。太陽が与えてくれたピュアで魅惑的な味わい、きめ細かなタンニン、しなやかなボディ、良質の酸。こういったヴィンテージのワインは、忍耐強くワインが熟す時を待った愛好家たちに、大きな喜びを与えてくれるはずです。

「天候面」だけをとって過去のヴィンテージに例えるなら、2003年、2009年に類似性があると言えるでしょう。

プレスリリース



Allen Meadows, 10/01/2020,
Issue 77

A whiff of herbal tea sits atop the pretty red fruit aromas, and in particular red cherry, along with hints of earth and underbrush. There is once again very good volume to the punchy and reasonably well-detailed medium-bodied flavors that exude a refreshing salinity on the powerful, firm and moderately rustic finale that is presently fairly chewy.

Burgundy Briefing, Sarah Marsh, November 2019
More oak showing now. Rich and juicy. Splashing fruit. Generous of tannins. Ripe. Quite sumptuous for NSG. 17,5